

NST通信

お知らせ

- ◆委員会
5月25日(木) 16時00分～ 研修室
- ◆研修会「NSTまめ知識講座」
5月25日(木) 17時40分～ 大会議室
- ◇症例検討会 担当:HCU
- ◇講義「NST総論」 講師:村田医師



NST通信では各部署のNST委員の方に記事担当をお願いしてトピックスなどを紹介しています。今月は**薬剤部**の担当です。脂肪は糖、タンパク質とならぶ3大栄養素のひとつでもあり、重要な栄養素です。しかし、特に静脈栄養を行っているとき、脂肪乳剤の投与を忘れがちです。今回は、静脈栄養に用いる**脂肪乳剤（イントラリポス20%）**について、その必要性や投与時の注意点を紹介します。

組成

成分:大豆油 20g+添加物
熱量:約 200kcal

必要性・目的

- 効率の良いエネルギー補給(9kcal/g)
→糖質やタンパク質の約2倍
- 必須脂肪酸の供給

必須脂肪酸は細胞膜やプロスタグランジンの材料として重要な役割を果たします。**脂肪酸を含まない高カロリー輸液を**

続けていると、数週間で必須脂肪酸欠乏症を発症するといわれます！
※TPN 施行患者に対し脂肪乳剤の投与をご検討ください！



必須脂肪酸とは…

人の体内で合成できない脂肪酸であり、食べ物から摂取する必要があります。脂肪を投与しない栄養管理下で**成人では4週間で欠乏症が出現**すると言われています。

*必須脂肪酸には、
n-3系脂肪酸(α-リノレン酸, EPA, DHAなど)、
n-6系脂肪酸(リノール酸, γリノレン酸など)があります。



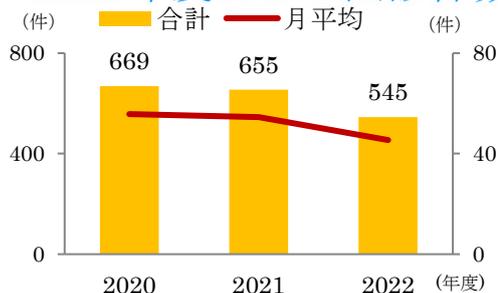
注意点



- 投与速度
急速投与すると、うまく代謝されず高トリグリセリド血症をきたすことがあります。このため、脂肪として**0.1g/kg/h以下**の投与速度が静脈経腸栄養ガイドラインで推奨されています。(当院採用のイントラリポス輸液 20% 100mLでは、**体重 50kgの場合で1本4時間**となります。)
- 配合変化
脂肪粒子の粗大化や凝集が起こることがあるため、基本的に他の薬剤と混合して投与することは避けます。
- ラインの管理
脂肪乳剤は微生物が繁殖しやすいため、**輸液ラインは24時間で交換することが推奨**されています。



2022年度NST回診件数



総回診件数は545件、月平均45件、1回診平均6件でした。診療科別では多い順に消化器内科、内科、脳神経外科でした。

院内認定NST専門療法士誕生

3月31日(金)に院内認定証授与式が行われました。**看護師、臨床検査技師の計2名**が新たに院内認定NST専門療法士となりました。NST院内認定者は**22名**となりました。日本臨床栄養代謝学会認定のNST専門療法士は**14名**です。



当院は日本臨床栄養代謝学会の認定教育施設です。今年度はNST専門療法士研修会(40時間)を開催します！